

# ろうさい病院つうしん

病院情報誌 平成17年度 第4号 平成17年10月1日発行

発行所：中部労災病院

〒455-8530

名古屋市港区港明1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>

## 下肢のしびれ＝腰椎由来？

整形外科 脊椎整形部長 湯川 泰紹



下肢（足）のしびれを訴えて患者さんが来院されたときに、その原因としてどのような疾患を想像されるでしょうか？腰部脊柱管狭窄症のような腰椎疾患や糖尿病などを挙げられる方が多いのではないのでしょうか？腰椎疾患では、しびれは下肢の外側で帯状にみられることが多く、ほとんどの方で下肢痛を伴います。麻痺や排尿障害を伴っていないければ、一般に保存的治療の対象となります。間欠性跛行のため短距離しか歩けない方は、よい手術適応です。また、糖尿病でも罹病期間が長くなるとしびれを訴える方が増加します。糖尿病などで生じる多発性神経障害は趾先、指先から左右対称に始まり、手袋靴下型の感覚障害を生じます。残念ながらこれらの多発神経障害に対しては、よい治療法（薬）はなく原疾患の良好なコントロールによる進行予防が大事となります。

これらの疾患以外に、気付かれにくいものとして頸椎症性脊髄症などの頸椎、胸椎疾患があります。このような脊髄疾患での下肢のしびれの訴えは、重だるい感じ、冷たい感じ、ほてる感じ、つる感じなど多種多様です。上肢のしびれを伴う方もあります。進行すれば、徐々に運

動障害を伴います。最初は、手の使いづらさ（巧緻運動障害）や歩きづらさから、最終的に四肢麻痺となる場合もあります。脊髄圧迫病変では、腰椎疾患と異なり痛みを伴うことが少なく発見が遅れがちですが、治療法としては手術しかありません。運動障害が進行した場合、手術を行っても改善しづらく、運動障害の軽い段階での手術が必要です。長引く下肢のしびれを訴えられる患者さんがおられましたら、一度打鍵器で下肢の深部腱反射（筋伸展反射）や、歩行状態を見ていただき、反射亢進や歩行障害を認めましたら当科へご相談いただければ幸いです。

現在当科では、東海地区で最も多い年間400例を超える脊椎手術を行っています。今後も最



良の医療の提供に努めますのでよろしくお願いいたします。

### 【頸椎MRI側面像】

このようにひどく頸髄が圧迫されていても下肢のしびれや歩きづらさなど下肢症状だけの場合があります。

整形外科 医師予定表 ●副院長 ◎部長

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
◎湯川 泰紹(脊椎) 伊藤 圭吾(脊椎) 堀江裕美子(一般) 飛田 哲朗(一般)	◎岡 義春(一般) ◎坂野 真士(関節) 高橋・石川(リウマチ) 小池 康弘(一般)	●加藤 文彦(脊椎) 寺島 照雄(関節) 飛田 哲朗(一般) 小池 康弘(一般)	◎岡 義春(一般) ◎湯川 泰紹(脊椎) 堀江裕美子(一般) 伊藤 圭吾(脊椎)	●加藤 文彦(脊椎) ◎坂野 真士(関節) 伊藤 全哉(脊椎) 寺島 照雄(関節)

# 急性心筋梗塞の徹底的治療をめざして

～ 病診連携医の重要性 ～



冠動脈疾患集中治療部部長 天野 哲也

わが国における1997年の急性心筋梗塞(AMI)の死亡率は人口10万対で男性46.6、女性42.3であり、死亡原因第3位の心疾患の約半数を占めています。心筋梗塞は致命的な疾患でしたが近年、検査法、治療法の進歩により急性期予後は著しく改善しています。図1はAMIに対して選択された治療法別の院内死亡率を示したものです。保存的治療では死亡率が20%程であるのに対し、急性期に経皮的冠動脈インターベンション(PCI)を施行しえた症例では有意な死亡率の低下が得られています。このように、AMIに対する緊急PCIの意義は非常に大きく、当院においても昼夜を問わず緊急冠動脈造影(CAG)、緊急PCIが施行可能です。さらに、来年度を目処に1年365日循環器医の院内常置化をめざしています。また、先生方より安心して患者様をご紹介いただけるような受け入れ態勢を整備し、迅速かつ適確な検査、治療を実践すべく日々循環器スタッフの教育、治療看護実践を積んでおります。特に、本年11月の新病院移転後は、CAG、PCI後管理の場としてのHCU、CCUも充実し首尾一貫した急性期治療を展開できるものと確信しております。

生存退院された患者様の次なる課題は2次予防であります。長期予後の規定因子を検討した研究によると、長期予後規定因子は、70歳以上の高齢、女性、心筋梗塞の既往、来院時心機能、多枝病変、急性期PCI未施行などがあげられています。また、冠動脈危険因子としての糖尿病、高脂血症、高血圧などの管理も重要であり、元気に先生方を再来された患者様の長期予後を改善すべく先生方には是非ご協力いただきたいと考えております。

最後になりますが、患者様のなかには明らかな胸部症状を有しないいわゆる無痛性心筋虚血の症例も少なからず存在します(図2)。特に、糖尿病、高脂血症、高血圧など冠動脈危険因子を複数保有する場合、明らかな症状がなくとも一度当院循環器内科受診をお勧めいただきたく宜しくお願い申し上げます。

(参考)

AMI : acute myocardial infarction

PCI : percutaneous coronary intervention

CAG : coronary angiography

HCU : high care unit

CCU : coronary care unit

循環器科 医師予定表 ◎部長 ☆看護学校長兼務

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	☆南木 道生 植谷 忠之	☆南木 道生 ◎丸井 伸行	◎加藤 真隆 横井 公宣	◎丸井 伸行 新井 孝典	◎加藤 真隆 安藤 博彦
午後	◎天野哲也(冠動脈) 植谷 忠之	☆南木 道生	◎加藤 真隆 横井 公宣	◎丸井 伸行 新井 孝典	安藤 博彦

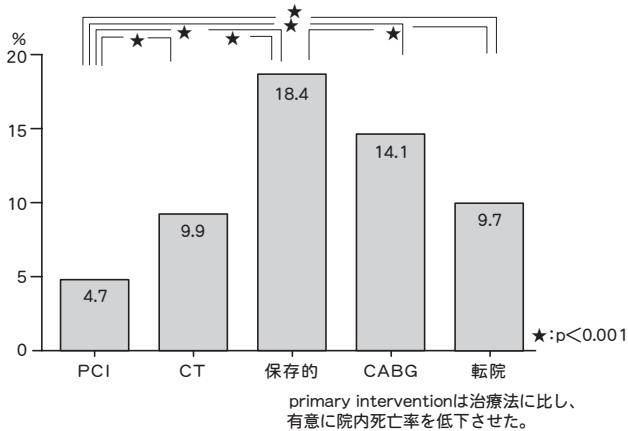


図1 急性心筋梗塞に対する選択治療による院内死亡率



図2 64歳男性、糖尿病、高血圧にて近医通院中。全くの無症状であったが、心不全にて入院。冠動脈造影にて多枝病変を認めた。PCIにて心不全改善し退院となった。

## 乳癌の早期発見

第3外科部長 岡本 好史



乳癌は罹患率、死亡率とも年々増加しています。近年、乳癌は比較的早い時期から微小な遠隔転移をきたす「全身病」としての生物学的性格があると考えられるようになってきました。このため、より早期の発見が重要となり、従来の視触診による検診に加え、乳房撮影（マンモグラフィ：以下MMG）やエコーを定期的に行うことが推奨されます。触診のみの検診では乳癌死亡率は低下しないという統計があり、名古屋市でも昨年からの検診にMMGを導入するようになりました。当科では乳癌のスクリーニング検査として視触診、MMG、乳腺エコーをルーチンに行っています。これらの所見を総合して、乳癌が疑われる、あるいは否定できない場合に穿刺細胞診、穿刺生検、切除生検などを行い診断を確定します。上記の検査はすべて

外来で可能であり、特にスクリーニングの3検査は原則としてすべて受診して頂いた当日に施行し、結果もその日にご説明する体制をとっております。

乳癌のスクリーニング検査は、しこりや痛み、乳頭分泌など何か症状のある方は通常の外来で、症状のない方は乳癌検診枠で行っております。

当科では、MMG読影資格をもつ医師が4名あり、外来診察では月曜から金曜までいつでも乳癌スクリーニングは可能です。乳癌検診は火、木曜日の午後に予約制で行っています。名古屋市の検診も可能ですので、該当する方は予約の際にご案内させていただきます。ご紹介に際しては地域医療連携室へ連絡をいただくと幸いです。

外科 医師予定表 ●副院長 ◎部長

※乳癌検診は火・木の午後に行っております

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
森脇 菜採子 (消化器・乳腺)	●小林 建仁 (消化器・肺・食道)	◎小木曾 清二 (消化器・内視鏡外科)	◎小木曾 清二 (消化器・内視鏡外科)	●小林 建仁 (消化器・肺・食道)
宇野 雄祐 (消化器・乳腺)	◎岡本 好史 (消化器・乳腺)	赤羽 和久 (乳腺・消化器)	宇野 雄祐 (消化器・乳腺)	◎岡本 好史 (消化器・乳腺)

# 連携室だより

## 中部労災病院の新情報

平成17年11月5日(土)に中部労災病院が生まれ変わります!!

### ☆病棟・手術室

全病室及び手術室が新病院へ移転いたします。

医事課入退院受付も新病院1階で行います。9階には展望レストランもオープンします。

### ☆外来(一部)

救急外来、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科(診察・RI・リニアック)、透析室、勤労者予防医療センター・健康診断部が新病院へ移転します。

### ☆MRI

既存の2台に付け加えて1.5テスラのMRIが2台導入されます。合計4台での稼働となりますので、予約の待ち時間が短縮されます。

### ☆地域医療連携室

新病院へ移転となり、「よろず相談」の中に集約されます。MSW、在宅、入退院受付と連携を図り幅広い対応を行っていきます。

～新病棟へ完全に移転するのは平成19年ですが、その先駆けとして上記のものが移転・増設されます。港区の新しい病院としてご期待ください～

## 糖尿病患者さまの栄養指導

貴院にてフォローアップ中の糖尿病患者さまについて栄養指導のみを目的としたご紹介をお受け致します!

### <実施日時>

毎週水曜日の午後3時から集団指導を行います。

### <栄養指導当日>

患者さまには紹介状・保険証をお持ちになり午後2時半に医事課1番窓口へお越しいただきます。

医師の問診後、集団指導を行います。

### <費用>

栄養指導に必要な「食品交換表」をご購入いただきます(税込み価格: ¥945)。

保険診療に関しては3割負担で¥1,500程度です。

### <ご予約・お問い合わせ>

お手数ですが下記の連絡先までお電話ください。

## セミナー開催

年に2回開催しているセミナーについてですが、今年度第2回目のセミナーを下記のとおり開催する予定です。開催のご案内や出欠表は追って送付させていただきます。

日時: 平成17年12月8日(木)

セミナー 午後2時～3時

懇親会 午後3時～3時30分

場所: 中部労災病院

演題: 前立腺癌診療の現状

演者: 伊藤 裕一(中部労災病院泌尿器科部長)

## 終夜睡眠ポリグラフ検査

睡眠時無呼吸症候群の診断には欠かせない検査ですが、もっと気軽に受けていただく為に10月1日から下記のを無料化します。是非ご利用ください。

・室料差額(¥7,350)・パジャマ代(¥147)

・駐車場代(約¥700)

### <ご予約・お問い合わせ>

お手数ですが下記の連絡先までお電話ください。

☎地域医療連携室 (平日8:15～19:30)

052-652-5950 (TEL)

052-652-5716 (FAX)

室長: 小林 建仁(副院長)

佐野 隆久(副院長)

事務担当: 河野奈々・金井久実